



# **SnapCenter Server**とプラグインのアップグレード SnapCenter software

NetApp  
November 06, 2025

# 目次

SnapCenter Serverとプラグインのアップグレード .....	1
利用可能なアップデートを確認するためのSnapCenterの設定 .....	1
アップグレード ワークフロー .....	1
サポートされているアップグレード パス .....	1
WindowsホストでのSnapCenter Serverのアップグレード .....	2
LinuxホストでのSnapCenter Serverのアップグレード .....	4
プラグイン パッケージのアップグレード .....	5

# SnapCenter Serverとプラグインのアップグレード

## 利用可能なアップデートを確認するためのSnapCenterの設定

SnapCenterは、NetAppサポート サイトと定期的に通信し、利用可能なソフトウェア アップデートがあればユーザに通知します。スケジュールを作成し、利用可能なアップデートに関する情報の受信間隔を指定することもできます。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、[設定] をクリックします。
2. \*設定\*ページで、\*ソフトウェア\*をクリックします。

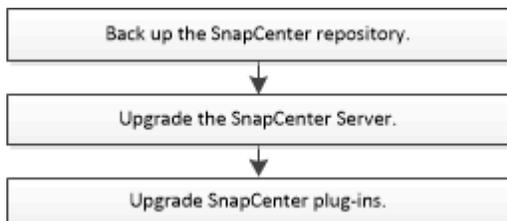
[Available Software]ページには、利用可能なプラグイン パッケージ、利用可能なバージョン、およびインストールのステータスが表示されます。

3. 更新を確認 をクリックして、プラグイン パッケージの新しいバージョンが利用可能かどうかを確認します。
4. [更新のスケジュール] をクリックしてスケジュールを作成し、利用可能な更新に関する情報を受信する間隔を指定します。
  - a. \*更新の確認\*で間隔を選択します。
  - b. SnapCenter Server Admin Windows 資格情報を選択し、[OK] をクリックします。

## アップグレード ワークフロー

SnapCenterの各リリースには、更新されたSnapCenter Serverおよびプラグイン パッケージが含まれています。プラグイン パッケージのアップデートは、SnapCenterインストーラと一緒に配布されます。利用可能なアップデートを確認するようにSnapCenterを設定できます。

このワークフローは、SnapCenter Serverとプラグイン パッケージのアップグレードに必要な各種のタスクを示しています。



## サポートされているアップグレード パス

アップグレード パスは、以前のすべてのバージョンのSnapCenterから最新バージョンのSnapCenterにアップグレードできるかどうか、およびサポートされているプラグインのバージョンを把握するのに役立ちます。

SnapCenter Serverのバージョン	SnapCenter Serverを直接アップグレードできる環境	サポートされているプラグインのバージョン
5.0	6.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.0</li> <li>• 6.0</li> </ul>
	6.0.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6.0.1</li> </ul>
	6.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6.1</li> </ul>
6.0	6.0.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6.0</li> <li>• 6.0.1</li> </ul>
	6.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6.1</li> </ul>
6.0.1	6.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6.0.1</li> <li>• 6.1</li> </ul>

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere のアップグレードについては、以下を参照してください。  
["SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのアップグレード"](#)。

## WindowsホストでのSnapCenter Serverのアップグレード

最新バージョンで提供される最新の機能と拡張機能にアクセスするには、SnapCenter Server をアップグレードする必要があります。

開始する前に

- SnapCenter Server ホストを最新の Windows 更新プログラムで更新し、保留中のシステム再起動がないことを確認します。
- アップグレードを開始する前に、他の操作が実行されていないことを確認してください。
- ASP.NET Core ランタイム 8.0.12 (およびそれ以降のすべての 8.0.x パッチ) ホスティング バンドルと PowerShell 7.4.2 以降をインストールします。
- ジョブが実行されていないことを確認した後、SnapCenterリポジトリ (MySQL) データベースをバックアップします。SnapCenter ServerとExchangeプラグインをアップグレードする前に、これを行っておくことが推奨されます。

詳細については、["SnapCenterリポジトリのバックアップ"](#)。

- SnapCenter Server ホストまたはプラグイン ホストで変更したすべてのSnapCenter構成ファイルをバックアップします。

SnapCenter構成ファイルの例: SnapDriveService.exe.config、SMCoreServiceHost.exe.config など。

- SnapCenter 5.0 に複数のバージョンのカスタム プラグインをインストールしている場合は、6.0 以降にアップグレードする前に、PowerShell コマンドレットを実行して、以前のバージョンのカスタム プラグイ

ン (最新バージョンを除く) をすべて SnapCenter リポジトリ (NSM データベース) から削除する必要があります。

- 走る `Open-SmConnection` SnapCenterAdmin ロールの資格情報を使用してログインします
- 走る `Remove-SmPluginPackage -PluginName M<plug-in name> -PluginVersion <version number>`

```
https://kb.netapp.com/data-  
mgmt/SnapCenter/SC_KBs/SnapCenter_6.0_upgrade_fails_in_nsm_repository  
_upgrade_SQL_script_8["SnapCenter 6.0以降へのアップグレードが失敗する"]。
```

## タスク概要

- アップグレード中に、SnapCenter は SQL スクリプトを実行して NSM データベース内の Exchange データを更新し、DAG とホストの短縮名を FQDN に変換します。これは、Exchange プラグインとともに SnapCenter Server を使用する場合にのみ適用されます。
- サーバー ホストを手動でメンテナンス モードにした場合は、アップグレード後に ホスト > スケジュールのアクティブ化を選択して、サーバー ホストのメンテナンス モードを解除します。
- ポリシーでプリスクリプトとポストスクリプトを有効にしている既存のバックアップ スケジュールと検証スケジュールについては、アップグレード後もバックアップ処理は引き続き機能します。

ジョブの詳細 ページでは、スクリプトを SCRIPTS\_PATH にコピーし、ポリシーを編集して SCRIPTS\_PATH を基準としたパスを指定することを推奨する警告メッセージが表示されます。クローン ライフサイクル ジョブについては、サブジョブ レベルで警告メッセージが表示されます。

## 手順

1. SnapCenter Server のインストール パッケージを NetApp サポート サイトからダウンロードします。

<https://mysupport.netapp.com/site/products/all/details/snapcenter/downloads-tab>

2. C:\Program Files\NetApp\SnapCenter WebAppにある web.config のコピーを作成します。
3. アップグレードが失敗した場合に復元できるように、Windows タスク スケジューラから SnapCenter プラグイン ホスト スケジュールをエクスポートします。

```
md d:\\SCBackup` `schtasks /query /xml /TN taskname >>  
"D:\\SCBackup\\taskname.xml"
```

4. リポジトリのバックアップが設定されていない場合は、SnapCenter MySQL データベース ダンプを作成します。

```
md d:\\SCBackup` `mysqldump --all-databases --single-transaction --add-drop  
-database --triggers --routines --events -u root -p >  
D:\\SCBackup\\SCRepoBackup.dmp
```

プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。

5. ダウンロードした .exe ファイルをダブルクリックして、SnapCenter Server のアップグレードを開始します。

アップグレードを開始すると、SnapCenter は事前チェックを実行します。システムが最小要件を満たしていない場合、SnapCenter はエラーまたは警告メッセージを表示します。警告を無視してインストールを続行できますが、エラーがあれば修正する必要があります。



SnapCenter は、以前のバージョンのSnapCenter Server のインストール時に提供された既存の MySQL Server リポジトリ データベース パスワードを引き続き使用します。

6. \*アップグレード\*を選択します。

どの段階でも「キャンセル」を選択すると、SnapCenter はアップグレードを停止します。キャンセルしてもSnapCenter Serverは以前の状態にロールバックされません。

ベスト プラクティス: ログアウトして再度ログインするか、新しいブラウザを開いてSnapCenterユーザー インターフェイスにアクセスします。

#### 終了後の操作

- プラグインが sudo ユーザーを使用してインストールされている場合は、`C:\ProgramData\NetApp\SnapCenter\Package Repository\sc_unix_plugins_checksum.txt` にある sha224 キーをコピーして、`/etc/sudoers` ファイルを更新する必要があります。
- サーバー ホスト上のリソースの新規検出を実行する必要があります。

SnapCenter にサーバ ホストのステータスが停止として表示される場合は、しばらく待ってから新規検出を実行してください。`HostRefreshInterval` パラメータの値 (デフォルト値は 3600 秒) を 10 分を超える任意の値に変更することもできます。

- アップグレードが失敗した場合は、失敗したインストールをクリーンアップし、以前のバージョンのSnapCenterを再インストールして、NSM データベースを以前の状態に復元します。
- サーバー ホストをアップグレードした後、ストレージ システムを追加する前にプラグインもアップグレードする必要があります。

## LinuxホストでのSnapCenter Serverのアップグレード

SnapCenter Serverインストーラ ファイルを使用して、SnapCenter Serverをアップグレードできます。

#### 手順

1. いずれかの操作を実行して、SnapCenter Serverをアップグレードします。

実行する処理	操作
非対話型アップグレード	<pre>sudo ./snapcenter-linux-server- (e18/e19/sles15).bin -i silent -DUPGRADE=&lt;value&gt; -DINSTALL_LOG_NAME=&lt;filename&gt;</pre> <p>例：sudo ./snapcenter_linux_server.bin -i silent -DUPGRADE=1 -DINSTALL_LOG_NAME=InstallerLog.log</p> <p>ログは <code>/var/opt/snapcenter/logs</code> に保存されます。</p> <p>アップグレードするために渡すパラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DINSTALL_LOG_NAME: インストール ログが保存されるログ ファイル名。</li> <li>• DUPGRADE: デフォルト値は 0 です。SnapCenter Serverをアップグレードするには、このパラメータに0以外の任意の整数を指定します。</li> </ul>
対話型インストール	<pre>./snapcenter-linux-server- (e18/e19/sles15).bin</pre> <p>アップグレードの確認を求められます。SnapCenter Serverのアップグレードを確認するには、0以外の値を入力します。</p>



SnapCenter GUIにアクセスするには、SnapCenterからログアウトしてログインし直すか、ブラウザを閉じてから新しく開き直す必要があります。

## プラグイン パッケージのアップグレード

プラグイン パッケージは、SnapCenterアップグレードと一緒に配布されます。

アップグレード手順によって Windows、Linux、または AIX プラグイン ホストがメンテナンス モードになるため、アップグレードする各プラグイン ホストを手動でメンテナンス モードにする必要はありません。メンテナンス モードでは、アップグレード中にプラグイン ホスト上でスケジュールされたジョブが実行されないようにします。

開始する前に

- Linux マシンにアクセスできる非 root ユーザーの場合は、アップグレード操作を実行する前に、`/etc/sudoers` ファイルを最新のチェックサム値で更新する必要があります。
- SnapCenterはデフォルトで環境からJAVA\_HOMEを検出します。固定の JAVA\_HOME を使用し、Linux ホスト上のプラグインをアップグレードする場合は、`/var/opt/snapcenter/spl/etc/` にある `spl.properties` ファイルに `SKIP_JAVAHOME_UPDATE` パラメータを手動で追加し、値を `TRUE` に設定する必要があります。

JAVA\_HOMEの値は、プラグインがアップグレードされたとき、またはSnapCenter Plug-in Loader (SPL) サービスが再起動されたときに更新されます。SPLをアップグレードまたは再起動する前に、SKIP\_JAVAHOME\_UPDATEパラメータを追加して値をTRUEに設定すると、JAVA\_HOMEの値は更新されません。

- SnapCenter Serverホストまたはプラグイン ホストで変更したSnapCenter構成ファイルをすべてバックアップしておく必要があります。

SnapCenter構成ファイルの例: SnapDriveService.exe.config、SMCoreServiceHost.exe.config など。

## タスク概要

- SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server、SnapCenter Plug-in for Microsoft Exchange Server、SnapCenter Plug-in for Microsoft Windowsでは、SCRIPTS\_PATHを実行するために、サーバとプラグイン ホストの両方を最新バージョンにアップグレードすることが推奨されます。

ポリシーでプリスクリプトとポストスクリプトを有効にしている既存のバックアップ スケジュールと検証スケジュールについては、アップグレード後もバックアップ処理は引き続き機能します。

ジョブの詳細 ページでは、スクリプトを SCRIPTS\_PATH にコピーし、ポリシーを編集してSCRIPTS\_PATH を基準としたパスを指定することを推奨する警告メッセージが表示されます。クローンライフサイクル ジョブについては、サブジョブ レベルで警告メッセージが表示されます。

## 手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ホスト > 管理対象ホスト をクリックします。
2. 次のいずれかのタスクを実行して、ホストをアップグレードします。
  - いずれかのプラグインホストの「全体ステータス」列に「アップグレード可能」と表示される場合は、プラグインホスト名をクリックして、次の操作を実行します。
    - i. \*その他のオプション\*をクリックします。
    - ii. プラグイン ホストがプラグインをアップグレードするための要件を満たしているかどうかを検証しない場合は、事前チェックをスキップ を選択します。
    - iii. \*アップグレード\*をクリックします。
  - 複数のホストをアップグレードする場合は、すべてのホストを選択し、 をクリックし、[アップグレード] > [OK] をクリックします。

関連するサービスはすべてプラグインのアップグレード中に再起動されます。



パッケージ内のすべてのプラグインが選択されますが、以前のバージョンのSnapCenterでインストールされたプラグインのみがアップグレードされ、それ以外のプラグインはインストールされません。新しいプラグインをインストールするには、「プラグインの追加」オプションを使用する必要があります。

「事前チェックをスキップ」チェックボックスを選択していない場合、プラグインホストがプラグインのインストール要件を満たしているかどうかを検証されます。最小要件を満たしていない場合は、適切なエラーメッセージまたは警告メッセージが表示されます。問題を修正したら、「アップグレード」をクリックします。



エラーがディスク スペースまたはRAMに関連している場合は、C:\Program Files\NetApp\SnapCenter WebAppにあるweb.configまたはC:\Windows\System32\WindowsPowerShell\v1.0\Modules\SnapCenter\にあるPowerShell構成ファイルを更新して、デフォルト値を変更してください。エラーがそれ以外のパラメータに関連している場合は、問題を修正してから要件を再度検証する必要があります。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。